

資料編



「宇都宮市デジタル共創未来都市ビジョン」については、市民や事業者などの各主体と「デジタル活用の理念」や「実装を目指す取組」などを共有できるよう、計画づくりの当初から、市民・事業者等の代表者で構成される「宇都宮市地域情報化推進懇談会」と市長をトップとした情報化推進本部の下部組織である「ビジョン検討チーム」が一体となって議論を行いながら、策定を進めてきました。

宇都宮市地域情報化推進懇談会

各分野・業界（医療，福祉，産業，市民団体，学識経験者，メディア，通信事業者，シンクタンク，環境，文化芸術）の主要な団体の代表者等により構成する「宇都宮市地域情報化推進懇談会」から、各業界や地域の課題・ニーズ等を踏まえ、ビジョンに盛り込むべき内容等について議論を実施

会議経過

年 月 日	会議内容等
令和4年6月9日	【第1回懇談会】 ● 「宇都宮市デジタル共創未来都市ビジョン」の策定の進め方について ● 「宇都宮市デジタル共創未来都市ビジョン」の構成について 等
令和4年9月28日	【第2回懇談会】 ● 「宇都宮市デジタル共創未来都市ビジョン」における「デジタル活用に係る主要な課題」及び「デジタル活用の基本理念」，「デジタル活用の方向性（柱）」等について 等
令和4年12月2日	【第3回懇談会】 ● 「宇都宮市デジタル共創未来都市ビジョン」の素案について ● 「宇都宮市DX実現タスク」の素案について



宇都宮市デジタル共創未来都市ビジョンの策定について

宇都宮市地域情報化推進懇談会 委員名簿 (R5.2月時点)

No.	区分	所属・肩書き	氏名	
1	医療	一般社団法人宇都宮市医師会 理事	天谷 健二	
2		一般社団法人宇都宮市歯科医師会 専務理事	半田 功	
3	福祉	社会福祉法人宇都宮市社会福祉協議会 常務理事 兼 事務局長	平手 義章	
4	産業	宇都宮市商工会議所 経営支援部 部長	中島 寿典	
5		公益財団法人栃木県産業振興センター 専務理事 兼 総務企画部長	坂入 武司	
6		宇都宮農業協同組合 代表理事常務	見形 繁	
7		一般社団法人栃木県情報サービス産業協会 理事	武田 文夫	
8	市民団体	特定非営利活動法人宇都宮まちづくり市民工房理事 兼 宇都宮市まちづくりセンター長	小倉 克洋	
9		栃木県消費生活リーダー連絡協議会 宇都宮支部 支部長	熊倉 シゲ子	
10	学識経験者	国立大学法人宇都宮大学 総合メディア基盤センター長	永井 明	◎
11	メディア	株式会社下野新聞社 デジタル報道部 部長代理	齋藤 明彦	
12	通信事業者	東日本電信電話株式会社 副支店長 ビジネスイノベーション部長	中川 徹	
13	シンクタンク	株式会社あしぎん総合研究所 ITソリューション部 部長	鈴木 勉	
14	環境	宇都宮ライトパワー株式会社 取締役	清 幹広	
15	文化・芸術	公益財団法人うつのみや文化創造財団 常務理事 兼 事務局長	笹原 幸恵	

※順不同・敬省略
 ※◎は会長

宇都宮市地域情報化推進懇談会からの主な意見

- ・ 誰一人取り残さないデジタル社会の実現に向け、デジタル化の恩恵を受けにくい市民への対応を図っていくため、人に優しいデジタル化（デジタルデバйд対策）により一層取り組んでいく必要がある。
- ・ デジタル化を進めていく上では、インターフェイスを易しくすることが重要であり、利用者の使いやすさを意識しなければならない。

- ・ 個人情報の取り扱いなどのセキュリティ対策等の徹底や、デジタルを安全・安心に活用できるよう、市民の情報リテラシーの向上を図っていく必要がある。

- ・ 地域の活性化、産業の振興を図っていくためには、特に、地域産業を支える中小企業等のデジタル化・DXを推進していく必要がある。

宇都宮市地域情報化推進懇談会からの主な意見

・デジタル化の進展により、リアルタイムなどでデータが流通することになり、様々なものが変革していくと考えられ、分野を跨ぐデータ連携を進めていくためには、新たに利用できるデータをどのように活用していくかを想定しながら、データの取り扱いに係るルール等を整備し、データを連携する仕組み（基盤の構築等）を検討していくことが必要である。

・文化・芸術分野では、デジタルを活用し、文化資源の保存・継承、また、それを活用して発展させていく役割があるとともに、地域経済循環社会に関わる側面としては、観光面などで人を呼び寄せる魅力の発信にも繋がるものである。

・今後、デジタル時代を担う人づくりの視点から、「未来を担う子どもたちを育てる」といった要素を取り入れていく必要がある。